

特 集

話し合いをした人たち (敬称略)



小川 幸 (みゆき)
(保 健 所)



椎 名 と く
(農協婦人部長)



椎 名 ナ ツ エ
(協議会副会長)

ましたところ、その席で健康管理のことで、しいたけ栽培をやるということで注文を取って、この秋にボツ、ボツ出始めたしいたけを配布することになっています。

しいたけは、高血圧の方に非常によいということですね。

司会 補助金の問題が出ましたけど、役場厚生課としてはどう考えているんでしょうか。

越川 予算的なことをいわれると頭も痛いんですが、根本的には自分たちの勉強のためであるということとを第一に認識してもらいたいと思います。

町としても出来るだけの予算措置をしたいと思いますが、あくまでも自分たちの生活と栄養を改善していくことですから、できるだけ自主的活動により効果を上げるよう皆さんで努力してもらいたいと願っています。

私は、五十年最初で栄養改善

の担当を受けたんですが、今まで協議会というものを設置して、各推進員が勉強したものを各部落に帰って、その部落の人たちへ伝達しておたという形をとっていましたけど、なかなか会場の借上げ、材料の準備、また後始末など一切推進員の負担になってしまった形で、伝達講習会をしたいんだけれど準備、整理が出来なくて回数が少なかったというのが現状であつたようです。

そういう関係もありまして末端まで浸透されなかったのではないかと、いわれましたので五十年度は、各部落を指定したということです。部落の指定にあたっては、

毎年住民検診を行っていますので住民検診の結果、高血圧が非常に多い部落、低血圧が多い部落、そういういろいろの障害のある部落がありましたので、それを中心にして現場指導していくということ

です。

五十年年度の伝達は講習会、研修会を行ったものについては、その部落の皆さんに教えていくという形をとっています。

ことは四部落を指定してありますが、四部落全部が伝達されませんので、これが浸透していけば相対効果が上がるものと思っています。これは五十年年度だけの指定であつて五十一年度は違う部落を指定し、更に五十二年度は違う部落を指定していき、最終的には全部落へ回るといふ形をとっていきたいと思っていますので、皆さんの協力をお願いしたいと思っています。

司会 これからの婦人会、農協婦人部、栄養改善協議会活動の中で栄養・生活運営、一般教養問題などのように取り上げ、活動していきますか。

椎名とく 先日、会合をやりまし

たときに決まったんですが、緑野菜が不足しているという結果が出ていますので、一年中作れる栽培計画。何月には何をまいて、何がとれる自家栽培を普及所をお願いしたので、今後はこの方法を取り上げていこうと思っています。

司会 生活運営、一般教養の問題ですけど、婦人会、農協婦人部はどう考えているんですか。

椎名とく 先日 テーブルマナーに一〇〇名程いき、大変たけなりましたので、こしいけなかつた人を対象に是非来年もまたいきたいと思っています。

司会 普及所として今までのお話しをお聞きになって、どう感じになりましたか。

伊藤 皆さんそれぞれの立場で苦労をなされているのがよくわかったんですが、まだまだ婦人のかたがたの関心が低いということなんです。私自身の仕事の中で、感じたわけですが、やはり生活の中心であるおかあさんがたに、もっと積極的になっていただく必要があるんじゃないかと思っています。

子供への夢を託すのも一つですけど、子供への夢と合せて自分自身もこんな夢をしていくんだという、自分も夢をもっていたんだという、というような事を感じました司会 きょうはお忙しい中、いろいろとどうもありがとうございました。